

【3面から】条約に署名と批准を求めるもの。核兵器禁止条約の署名国は94カ国で批准国は73カ国、条約採択賛成国は国連加盟国の63%の122カ国です。

藤沢やよい高松市議や参加者は、「核兵器は安上があり、との政治家の発言は、長崎や広島の実態を知らない発言だ」、「8月6日の長崎、9日の広島への原爆

被害や被爆者の実相を知り、核兵器の非人道性を知つて欲しい」、「核抑止力論の台頭や、ロシアとウクライナの戦争やパレスチナ・ガザへイスラエルのジエノサイドなど戦争や紛争、虐殺を許してはならない」、「暮

日本政府の大軍拡に反対。武力で平和はつくれない」などと訴えました。

郷土史辞典「笠居郷探訪」（一部抜粋）(30)

ユル

著者 立山 信浩
(ゆる)

余水吐（よすいはな）がある。

ユル抜き（ゆるぬき）

豊橋の取水孔（古いタイプのユルであればスッポン孔を開けて池の水を底槽から外のイデに放出すること。ユル抜きの前には、必ずイデ・ザフ

イを行った。

1回目のユル抜き（初ユル）は苗代田へのもみ焼きのとき。

このとき水口祭を行つた。約

1ヶ月後の2回目のユル抜き

でサイケ（初田植え）が始ま

り、ハンゲまで水ブリに合わ

て取水孔を開閉するユルを選

択する。

※これとは逆に、水深の浅い位置（土手に近い位置）

のユルから順番に一番ユ

ル、一番ユルと呼ぶ池も

ある。ユルの呼び方は池

によつて違う。

底槽は、池の内側と池の外

側をつなぐ樋管であり、堤防

底に埋設されて底槽と池の底

で連結している。取水孔から

入り豊橋を通つてきた池の水

は、底槽を通して堤防の下を

くぐり、池の外のイデ（用水路）へ流れ出す。昔の樋管は

木製であつたから腐食が早く

く崩して行つた。特に堤防を完全に切

り崩して行つたユル（底槽）

の付け替えは、稻刈り終了後

に直ちに行つた。

※現在のユルは機械ユルと

呼ばれ、堤防からバルブ

を操作して池の底の取水

口を開閉する方式に変わつ

ている。

※ユルとは別に、満水防止

のための放水施設として

呼ばれる、堤防からバルブ

を操作して池の底の取水

口を開閉する方式に変わつ

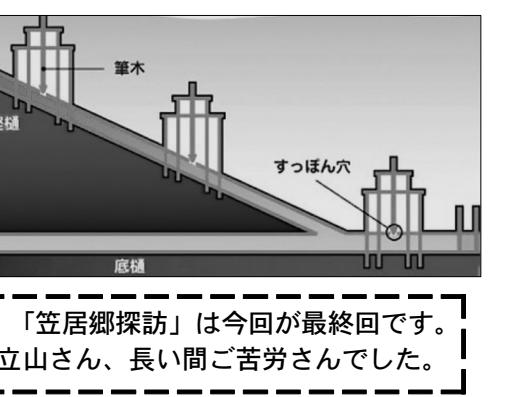
ている。

池守が持つていた。

池からライデへの放水を止

めることを「ユルを差す」

と言い、このことに関する権限も池守にあつた。



「笠居郷探訪」は今回が最終回です。
立山さん、長い間ご苦労さんでした。

戦後・被爆80年

8・15戦争体験を語りつぐ集い

高松市で15日、第44回8・15戦争体験を語りつぐ集いが開かれ、新しく小中学生やその親、若い大学生が集団で参加するなど主催者想

が講演。浄土卓也氏と、劇団マグダレーナ主宰による脚本・演出家の大西恵氏が講演。浄土氏の半生を描いたドキュメンタリー映画監督の金穂

敗戦の日に街頭宣伝 平和憲法を生かす香川県民の会

敗戦の日の15日、平和憲法を見ました。

高松市の繁華街での昼の宣伝には約60人が参加。太

平洋戦争の惨禍や平和などを語りました。

元高校教師で在職時

に高松空襲を記録する

会を立ち上げ、戦争体験の語り部をしている

浄土卓也氏と、劇団マグダレーナ主宰する

130人が参加しました。

同実行委員会の杉村智子

代表は「世界中の戦争が終

わらない。核抑止論などに負けず、憲法9条を持

つ日本で平和を語り継

ぐ意味をみなさんと考

みました。

大西恵氏が講演。浄土氏の半生を描いたドキュメンタリー映画監督の金穂

